

産業カウンセラーにとつて、忘れてはならない大切な活動があります。それは、スキルや知識を向上するための継続的な学び、いわゆる能力開発です。これは、ものづく

ナビゲーター

り分野の領域でいうところの製品開発や品質改良というべきもので、私たちの領域ではサービス品質の向上ともいえるべき大切な取り組みです。産業カウンセラーは、仕事を通じて人の心に関わる専門家です。しかし、人の考え方や価値観は多様であって、ひとりとして同じ相談内容はないといっても過言ではありません。ひとごとおりの知識やスキルだけでは対応できないようなケースに出会ったとき、カウンセラーは臨機応変に対応します。カウンセリングに正解はなく、カウンセリングを受けてよかつたかどうかという判断は相談者が決めることになりませんが、カウンセラー自身もカウンセリングの対応

産業カウンセリング理論と私の実践

◆ 26

を振り返ります。その中で、自身の未熟なスキルに気づき、課題として受け止め、その後の改善に努めます。そのため能力開発の方法について紹介します。

カウンセラーの能力開発と内的成長

最初で紹介するのは、スーパービジョンといわれるもので、これはカウンセラーが自身のカウンセリングのあり方について指導者から指導や教育を受けるものであり、1対1形式もあれば、グループ形式で行うものもあります。次に、実施機関による集合研修、遠方で開催される講座や研修などについても受講しやすい環境が整備されています。このほかカウンセラーとして忘れてはならないものが、メンタルヘルスを保ち、人間的成長を目指すことです。技としての能力開発だけではなく、カウンセリングで抱えたストレスを解消する、いわゆるカウンセラーとして長く活動していくために大切なように感じます。

心技体の調和による成長目指して

【2級キャリアコンサルタント技能士・認定心理士 松本晃】

(火曜日に掲載)

